

取手駅西口開発と図書館等公共施設整備事業の概要

◆A 街区再開発事業



- 施行位置：取手駅西口交通広場に面した土地
- 施行面積：約 0.6 ヘクタール (6000 m²)
- 権利者数：8 名
- 事業協力者：・(株)大京(デベロッパー)・戸田建設(ゼネコン)
- 施行予定者：再開発組合
- 収支計画

事業支出金	調査設計計画費 約 7 億円		
	工事費 約 131 億円		
	事務費等 約 5 億円	合計	約 143 億円
事業収入	再開発補助金(国・市) 約 38 億円		
	保留床処分金 約 105 億円	合計	約 143 億円
- 事業計画概要

主要用途	住宅・店舗・公共公益・駐車場		
全体	階数：地上 25 階建て	延床面積：約 36,000 m ²	
非住宅棟	階数：1～5 階	専有面積：約 7,100 m ²	
住宅棟	階数：2～25 階	専有面積：約 14,000 m ²	
	計画戸数：約 200 戸		

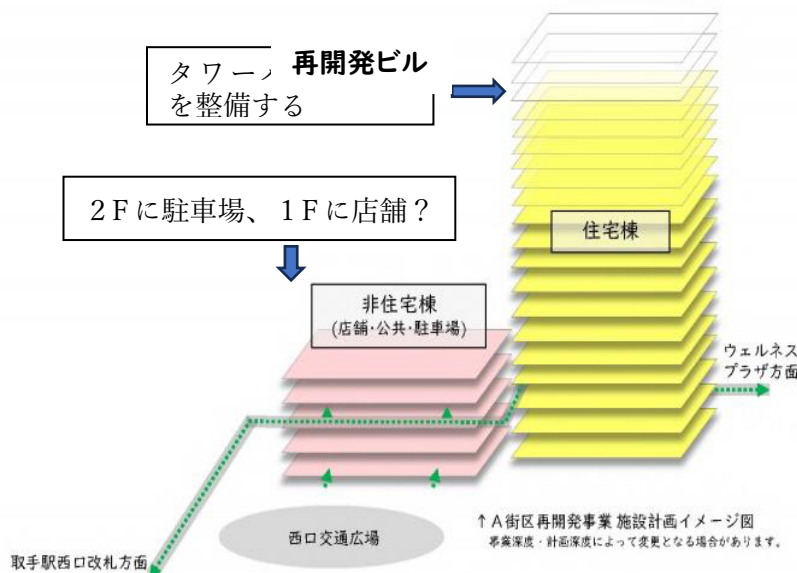
◆図書館等公共施設整備事業

【想定規模】

- 図書館機能：3,000～3,500 m² 程度
(参考：取手図書館 1,527 m²・ふじしろ図書館 2,263 m²)
- 多目的ラウンジ：500～1,000 m² 程度 (オープンステージ・窓口・カフェ等を含む)
- 音楽スタジオ、会議室：300 m² 程度
- 合計：4,000 m²～4,500 m² を想定 (A 街区再開発ビル 非住宅棟 2～2.5 層相当)

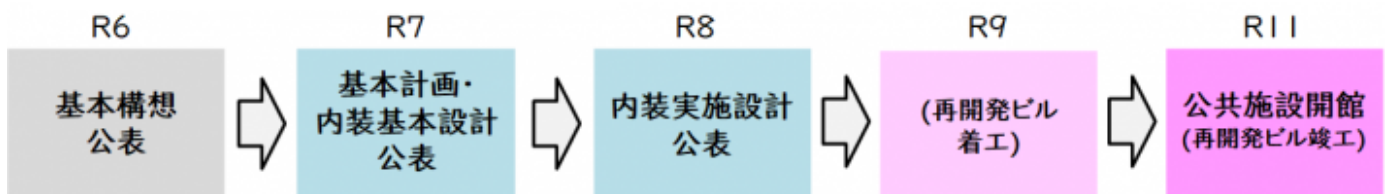
【想定事業費】

- イニシャルコスト (再開発ビル床購入、内装設計、内装工事、備品購入) 40～45 億円 (想定) 財源：国補助金(補助対象事業に対し最大 50%)、地方債、一財
- ランニングコスト (指定管理料) 年 1.5～2 億円 (想定)



↑ A 街区再開発事業 施設計画イメージ図
※高さ・計画深度によって変更となる場合があります。

図書館等公共施設開館までのスケジュール



() は市街地再開発事業

A 街区再開発事業 都市計画決定までのスケジュール

